

教育プログラム展開企画案一覧

No.	カテゴリー	学部・学科等	テーマ	担当教員名	プロフィール	展開概要	展開時間 (所要時間)	実施条件 (時間、高校側に準備いただきたいことなど)
1	キャリア教育	総合リハビリテーション学部 リハビリテーション学科	ともに生きる社会に 障害者の生活を知る	内田 茂博	■修士 (理学療法) 運動器専門理学療法士 ◆骨関節疾患理学療法	利き手を三角巾、同側の膝・足関節を弾性包帯で固定し、片麻痺患者 (半身不随) の疑似体験として高校内の日常生活 (更衣、トイレ、歩行、階段など) を行い、支障を来す動作を体験するとともに、障害者がどのような環境下で問題となっているかについて考えます。	50分×2	三角巾、弾性包帯、パソコンプロジェクター、スクリーンなど
2	キャリア教育	総合リハビリテーション学部 リハビリテーション学科	脳トレなんかもう古い!! 効果的な最新の認知症の予 防方法を学ぼう	大井 博司	■修士 (保健学) ◆リハビリテーション科学	(1 限目) 講義: 認知症の理解と予防の考え方 (2 限目) 実習: 認知症予防体験 (3 限目) グループワーク: オリジナル予防方法をグループで検討 (4 限目) 発表会	50分×4	講義: プロジェクターとスクリーンを使用。 実習: 広い教室でパイプ椅子が人数分必要。 服装: 生徒は運動のできる服装。 その他: グループワークでは模造紙と色マジック、下に敷く新聞紙、いらぬ雑誌 (写真の多いもの)、折紙、ハサミ、糊、セロテープ、画鋸が必要。事前にグループ分け (5~6名ずつ) をお願いしたい。
3	キャリア教育	総合リハビリテーション学部 リハビリテーション学科	目に見えない障害への支援	沖田 啓子	■博士 (保健学) ◆失語症学 高次脳機能障害学	目に見えない障害のひとつである言語障害の疑似体験を行い、それらの障害を持つ人の気持ちを考えると、支援者である言語聴覚士の仕事の話をしていきます。	50分×2	パソコンプロジェクター、スクリーンなど
5	キャリア教育	看護学部 看護学科	看護師という仕事	看護学部教員	-	看護とは、看護の心など、看護師を育成している教員から職業理解を促す話をします。	1時間程度	4月~9月希望 (10月~3月は対応可能な教員が少ない)
6	キャリア教育	看護学部 看護学科	学んで、実行 健康教育	公衆衛生看護学領域の教員 (保健師)	-	健康を維持するためには、健康のための食事や運動などの話し	1時間程度	4月~9月希望 (10月~3月は対応可能な教員が少ない)
8	キャリア教育	医療福祉学部 医療福祉学科	医療・福祉・健康分野の 専門職とその仕事	久保田 トミ子	■修士 (学術・福祉) ・看護師、社会福祉士 ◆介護福祉学	医療・福祉・健康分野の専門職の業務内容を知り、自己の特性と職業選択についての手掛かりが得られるようにします。	45分~50分	本学作成の「仕事と資格 (キャリアブック)」の冊子を使用する
9	キャリア教育	医療福祉学部 医療福祉学科	福祉のしごと ーコミュニケーション力を伸ばそ うー	池田 明子	■修士 (教育学)、介護福祉士、保母資格、幼稚園教諭2種 ◆高齢者介護、障がい者介護、介護福祉教育	日頃の自分自身の人との関わり方を考えると、福祉の専門職に求められるコミュニケーションについて学びます。	60分	プロジェクター、PC
11	キャリア教育	医療栄養学部 医療栄養学科	管理栄養士の仕事	医療栄養学教員	-	管理栄養士の仕事や職場での働きについて知る講義を行います。 また、グループワークでの話し合いも取り入れ、管理栄養士の印象や今後について話し合ってもらいながら、本学学生に参加してもらい、実際にプロの仕事に触れる早期体験等を行った感想等を学生たちから伝えます。	50分	
12	キャリア教育	心理学部 心理学科	人間の考え方の違い (人はそれぞれ、の理解)	森本 修充	■医学博士、医師 ◆精神医学、リエゾン精神医学、思春期・青年期精神医学	同じ文章を読んでも、人によって受け取り方は異なるんだということを具体的に文章を読んで経験します。	2コマ (50分×2)	教材プリント 2年生か3年生対象
13	キャリア教育 総合学習	心理学部 心理学科	人の行動の理解・行動の変容 の仕方	伊藤 啓介	■教育学士 ◆発達障害臨床、児童思春期臨床、行動療法	行動療法の基本理論を具体的に説明し、機能分析や課題分析を個人やグループで実施。観察・記録の重要性やどのようにすれば人の行動が変容するかを考えていただきます。	2コマ (50分×2)	パソコン・スクリーン・プロジェクター どの学年でも可
14	アクティブラーニング	医療経営学部 医療経営学科	災害に強い達人になろう	梅 林	■博士 (工学) ◆都市地域計画、人間工学、環境認知行動、児童心理学	防災や避難に関わる情報の収集や活用などグループ学習を通じてネット社会に通用するスキルの獲得や災害コミュニケーションの方法などを学びます。		パソコンや情報ツールに慣れていること
15	アクティブラーニング	心理学部 心理学科	体験型学習: 集中力・学力 向上のための睡眠、生活リズム の重要性	田中 秀樹	■博士 (学術) ◆睡眠学、長寿科学、学校健康心理、脳科学	睡眠、生活リズムの重要性や改善方法について体験を通して学びます。知識・情報を収集し、学んだ知識や技能を活用する具体的な方法を修得します。	2コマ (50分×2)	プロジェクター、模造紙 10枚、3年生か2年生対象
16	アクティブラーニング 総合学習	心理学部 心理学科	心理学の視点で考える 「日常経験」	西村 太志	■博士 (学術) 専門社会調査士 ◆自己過程、社会的相互作用・対人関係、子育て	1) 社会心理学のテキストを参考に、日常生活で人々が経験する場面を例示する 2) その状況において、個々の登場人物のどのような心理的過程が存在しているかを学生各自が考え、意見交換します 3) 先に呈示した場面において、その心理過程を説明する理論などの説明を行い、自分たちの考えとの相違点を議論。	2コマ程度 (50分×2)	プロジェクタ、配付資料など、どの学年でも可
17	総合学習	心理科学研究科 実践臨床心理学専攻	心理学って何? 臨床心理学って何?	田形 修一	■文学修士、臨床心理士 ◆臨床心理学	心理学とはどのような学問なのか、日常場面での応用を紹介しながら、お話ししてみたいと思います。心理学の中でも臨床心理学はどのような学問なのか、また心の専門家を目指すには何が必要なのかなど話します。	45分~90分	プロジェクターがあればと思います。無ければ持参します。
18	総合学習	心理科学研究科 実践臨床心理学専攻	コミュニケーション・スキル	田形 修一	■文学修士、臨床心理士 ◆臨床心理学	コミュニケーション・スキルについて考えてみます。心理テスト体験などを使いながら体験的に理解できればと思います。	45~90分	プロジェクターがあればと思います。無ければ持参します。

教育プログラム展開企画案一覧

No.	カテゴリー	学部・学科等	テーマ	担当教員名	プロフィール	展開概要	展開時間 (所要時間)	実施条件 (時間、高校側に準備いただきたいことなど)
19	総合学習	心理科学研究科 実践臨床心理学専攻	自分を知る・人を知る	岡野 泰子	■修士(教育学)、学士(心理学) ◆臨床心理学	内容：ワークを交えて自分を知って行きながら、クラスの仲間を知っていきます。 目的：投映法(描画法・絵画統覚法等)の知見を用いて、簡単なワークを行い、表現されたものを生徒自らが教員とともに味わい、自分について見つめて作文を書き、それをクラスで披露。共有し、共有されて、クラスの仲間を知って行く。生徒一人一人が何らかの問題も抱えているはずで、教員は臨床心理士としての専門性を発揮して、生徒の繊細な部分への配慮も行いながら進めます。 第1回：「①自分について」作文を書く ①を生徒一人一人と教員が共有する 「絵画統覚法」をやってみる 「②絵画統覚法で気づいたこと」作文を書く 第2回：②を生徒一人一人と教員が共有する ①②についてクラスで共有できる人は発表する 「③描画法」をやってみる ③を生徒一人一人と教員が共有する 「③描画法で気づいたこと」作文を書く 第3回：③についてクラスで共有できる人は発表する 「④自分・人・クラスについて」作文を書く	90分×3回	クラス単位で参加(3回とも参加できること)
20	総合学習	心理科学研究科 実践臨床心理学専攻	相手の心を受け取ってみよう	寺沢 英理子	■博士(心理学) ◆臨床心理学	非言語的表現を用いて、相手の心を受け取る体験をしてみます。(この体験が何をもちましますか?アウトカムは?)	50分～90分	画用紙、色鉛筆、クレヨン等
21	総合学習	看護学部 看護学科	看護の体験	看護学部教員	-	施設の見学と看護の体験(シミュレーターによる心音・呼吸音聴取や模型を利用した沐浴体験など)	1時間程度	呉キャンパスに来学いただけること。 4月～9月希望(10月～3月は対応可能な教員が少ない) 学内演習で実習室を使用している時間帯は不可。
22	総合学習	研究支援・社会連携センター	福祉をブラックホールと結び付けて考えてみよう	吉川 眞	■修士(社会福祉学) ◆臨床ソーシャルワーク、ターミナルケア、対人援助論	現代科学では解明しきれないブラックホールも個々人の“福祉”も、その答えを見出すには知識とスキルが必要です。今回は、主に体験学習を通して、“福祉”を見出すためのスキルを習得してもらいたいと思います。	90分	イス・机を自由に動かすことができる教室等を準備していただきたい (90分を予定していますが、60分あるいは50分しか取れない場合にはその時間枠に応じた内容で実施可能)
23	総合学習	医療栄養学部 医療栄養学科	「口から食べる」を考える	木村 要子	■修士(都市政策学) ◆臨床栄養、栄養政策	経腸栄養剤や静脈栄養療法の進展により、栄養摂取の選択肢は増えています。しかし、対象者のQOL(クオリティ・オブ・ライフや栄養面から、「口から食べる」ことの利点が見直されています。ここで問題となるのが、誤嚥性肺炎。誤嚥性肺炎に配慮しつつ、いかに「口から食べる」を実現するか、その取り組みの一端を紹介します。①口から食べるを知る。食べ物はどうやって食べる?食べるとき、どこを使ってる?どんな食べ物食べやすいの?食べる姿勢は?等 ②誤嚥性肺炎って?	40分	水、紙コップ、スプーン、ゼリー、すめ、ティッシュペーパー
24	総合学習	薬学部 薬学科	がんになったらどうする?	三宅 勝志(ほか)	■博士(薬学)、薬剤師 ◆医療薬学	第1週 講義(1時間) テーマに関する基本的な用語と現状を紹介。講義後、グループ毎に調査する課題を与えます。 第2週 グループ毎に課題について発表。 総合討論：自分あるいは家族ががんになったらどうしたいか	第1週 講義(1時間) 第2週 発表 総合討論	全体講義ができて、グループ討論ができる教室(机・椅子が自由にレイアウトできる)
25	総合学習	薬学部 薬学科	水問題を考える	杉原 数美(ほか)	■博士(薬学)、薬剤師 ◆薬物代謝学、環境衛生薬学	グループごと作業、調査、議論を行い、最終的な結論を各自述べていただきます。 グループ作業 1.水問題で知っている知識を出し合う。 2.現在の水問題を調査する(インターネット、書籍など) 日本の場合、世界各国での問題 環境面、経済面、消費者側、行政側、人、野生動物など多面的に調査 各国の相違など。 3.水に関して注目された問題に関して、賛成派と反対派を設定して、自分たちの主張が通るように議論。 4.水問題に関する自分の意見、新たに得た知識、自分の意見など、各自記入。	1時間	グループに1個のパソコン、或いはタブレット。これらを映写するプロジェクタ
26	総合学習	心理学部 心理学科	心理学入門(心理学の基礎導入)	小野寺 孝義	■学術修士 ◆社会心理学	心理学とはどのような学問なのか、そして科学としての心理学の根底にある科学的な考え方とはどのようなものなのかを話します。	50分	プレゼンター (可能ならノートPCとPowerPoint) どの学年でも可
27	総合学習	保健医療学部 医療技術学科	救急救命法	救急救命学専攻教員	-	一次救命処置技術の習得(心肺蘇生法とAED)	60分	本学施設で実施する

教育プログラム展開企画案一覧

No.	カテゴリー	学部・学科等	テーマ	担当教員名	プロフィール	展開概要	展開時間 (所要時間)	実施条件 (時間、高校側に準備いただきたいことなど)
28	総合学習	保健医療学部 医療技術学科	「いのち」への問いかけ	本学の生命倫理を 専門とする教員	-	生命倫理上のいろんな課題について、その用語や背景について調べてより深く理解した上で、「あなたならどうするか」について自分の考えを発表してもらう。	数コマでまとまりのある内容を扱う	ネットでの検索ができる環境など、時間は数コマは必要。
29	総合学習	保健医療学部 医療技術学科	医療系の名作を読む	本学の読書が好き な教員など	-	人の生死に関わる文学作品を読んだ後、テーマを与えてディスカッションし、自分が考えたことについて発表する。	1冊の本で1コマ分	対象とする本を人数分だけ揃え、前もって読んでおくようにしなければならない。
30	模擬ゼミナール	医療福祉学部 医療福祉学科	絵本と保育	田野 慎二	■修士 (文学) ◆日本文学、中世文学、和歌文学	絵本の「絵」にどういう意味があるのか、どのように「読み」ば、いっそう絵本を楽しむことができるのか、具体的な絵本に即して考えていきます。	50分	パワーポイント、AVを使用するための環境
31	模擬ゼミナール	医療経営学部 医療経営学科	病院で働く職種	江原 朗	■医学博士、医師 ◆医療政策、小児科学	病院で働く職種について、模擬ゼミを行います。	50分	医療事務系を目指す生徒が望ましい
32	模擬ゼミナール	医療経営学部 医療経営学科	医療の仕組みと情報システム	笹川 紀夫	■学士・上級医療情報技術師育成指導者 ◆医療情報学、医療管理学	医療分野でのICT技術の応用が進んでいます。そこでなぜ医療のICT化が必要なのかを、医療の仕組みをひもときながら解説し、皆さんと検討します。	50分	大学で実施出来るのであれば、実際に電子カルテシステムを操作し、医療の仕組みと情報システムの 必要性について体験させることが可能。
33	模擬ゼミナール	医療栄養学部 医療栄養学科	調理の科学 合成膨張剤の化学変化	医療栄養学教員	-	高校で学んでいる化学の化学反応式が、調理時にどのように目に見えるかグループで考え、調理科学の興味を促すとともに、主体的な学習を促します。	50分	準備物：パソコン、プロジェクター
34	模擬ゼミナール	医療栄養学部 医療栄養学科	調理科学/キッチンサイエンス	木村 留美 他	■修士 (人間文化学) ◆給食調理	“卵を加熱すると固まるのはなぜか？” 普段の料理でもよく用いられる卵の熱凝固性について その他、糖とアミノ酸の反応や小麦粉の膨化など、	40分～50分程度	プロジェクターなど
35	模擬ゼミナール	医療栄養学部 医療栄養学科	自分の栄養プランを考えよう。	医療栄養学教員	-	体組成を調べ、自分に適切な栄養素を確認。(グループで一人のプランを考えるのも有り)	60分	
36	模擬ゼミナール	医療栄養学部 医療栄養学科	食品加工を学ぼう	医療栄養学教員	-	こんにやくなど簡単な例を挙げ、加工原理を学び実践を行う。	60分	